

香川県高松市と都市提携を締結



協定書を手にする広瀬市長と高松市の大西市長

「歴史文化交流協定」と「災害における相互支援協定」締結の調印

6月29日、香川県高松市の高松国分寺ホールにおいて、下野市と高松市との『歴史文化交流協定』と『災害時における相互支援協定』締結の調印式を行いました。

2市のさらなる交流を目指します！
○歴史文化交流協定

両市のつながりの軸である国分寺跡等の貴重な歴史遺産の承継や活用などを通じ、さらなる交流人口の増加と地域の活性化を目指します。

○災害における相互支援協定

地震などの大規模災害・広域災害で被害を受けた場合に備え、市の応

急対策や復旧活動を迅速かつ円滑に遂行します。これにより、同時被災を回避できる遠隔地自治体との協定締結により、生活必需品の供給や人材派遣など相互支援ができることになりました。



朝服をまとった子どもたちによる天平行列

高松市との交流

合併前の旧国分寺町で平成13年に開催された第2回全国国分寺サミットでの親睦を契機として、香川県綾歌郡国分寺町と全国に2つしかない「国分寺町」という同一町名の縁により交流が始まりました。

両町は平成18年1月10日、それぞれ合併により下野市、高松市となりましたが、その後も、教育・文化・スポーツ等様々な分野の交流活動を継続してまいりました。



天平の花まつりや道の駅で演奏したこともある讃岐国分寺太鼓